

# 甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・2020年12月丹生校区



今回の号外は、丹生校区の話題を中心にお知らせします。9月26日の丹生小学校運動会を受付の方の許可を得て、開会式途中から1時間ほど見学させていただきました。実は、当日は丹生小の後に、坂ノ市小(フェンスの外からの見学)なども見学しました。「三校三様」といった感じで児童数や地域によって、それぞれさまざまな創意工夫を行い、運動会を実践していました。感染症対策を行いながらも、子どもたちの視点に立ち「どうやったら実施できるか」を検討し実践して下さった教職員のみなさんや保護者の方々に感謝致します。ありがとうございました。活動が制限される中でも、子どもたちの懸命な姿や笑顔がとても印象的

でした。子どもたちの心の底からの笑顔が、そして制約のない運動会や各種学校行事が、少しでも早く実施されることを願っています。そのためにも教育現場の声や地域の声をしっかりと聞き、行動していきます。

甲斐たかゆき・連絡先 090-4991-6412



## ☆「佐野清掃センター」稼働延長に伴う

### 地域振興策が着々と進行中☆

#### ①各自治区の公民館

照明器具のLED化、空調工事、プレハブ倉庫の代替、ホールのエアコン改修、リフォーム工事(フローリング)、駐車場整備など、自治区の要望に応じて、大分市の「公民館改修補助事業」の制度等を活用し、本年度分は改修済みとなりました。

②屋外放送設備の設置については、「自主防災情報設備補助」の制度を活用し設置済み。

③丹生校区公民館の老朽化した設備の改修。すでに調理室がきれいに使いやすく改修されています。補助上限額の関係で令和3年度までかかる設備改修もあります。

④上記に書き出していない各自治区から出されている要望についても、継続して協議しています。ご心配なく。本年度分の事業費の総額は、約4870万円となっています。

⑤その他にも、要望事項が実現している事業が数多くあります。今後とも、各自治区から出されている要望の更なる実現に向けて、みなさまと一緒に取り組んでいきます。まだ実現に向けて協議中の課題に対しても、みなさまとともに今後もねばり強く要望していきます。進捗状況の把握に努めて参ります。

※右画像は、丹生校区公民館のリニューアルした調理室にて(使いやすいと好評です)。



☆「佐野清掃センター」に関連した議会での一般質問☆ 2020年6月議会より

今回の号外では、「佐野清掃センターの跡地利用」の質問について、議会だより「えがお」には書き込んでいない内容を一部ご紹介いたします。「えがお14号」も参照して下さい。

〔質問概要〕 ①佐野清掃センター清掃工場の大規模改修事業の進捗状況

②新環境センターの今後のロードマップ(事業の今後の見通し)

③「(仮称)佐野清掃センター跡地利用を語り合う会」の立ち上げについて提案

〔答弁要旨〕

①令和3年度末までの3ヶ年で溶融炉や燃焼室等の基幹設備の大規模な改修を実施。(感染症の影響もなく)本年5月末時点で進捗率は31.9%で、作業工程表に沿って順調に推移。

②昨年度から環境影響評価と用地取得を引き続き実施。本年度は最適な事業手法を検討するための「PFI等導入可能性調査」を行う。令和4年度末までに事業者の選定。令和5年度から実施計画を経て建設工事に着手。令和9年度の供用開始を目指している。

〔甲斐の思い〕新環境センターが稼働するまでの間、佐野清掃センターについて苦渋の決断で「延長同意」をしてくださった地元のみなさんの心中を察するとき、これ以上のご負担とならないように現在の佐野清掃センターの安全稼働や新環境センターの動向を注視する必要があります。今回のような質問を行っていくことで、行政の責任を明確にすると共に、確実に進捗していくことを今後とも後押ししていきます。

☆大分市における教育費の推移について思うこと☆ 資料を調べて、試算してみました。

	教育費	一般会計に対する教育費の割合
2014年度(平成26年)	約153.5億円	9.4%
2017年度(平成29年)	約136.8億円	7.9%
2020年度(令和2年)	約177.7億円	9.3%

2017年度を見るとわかるように、実は現市政になり教育費の割合が一時期を除き減少しています。本年度に向けて徐々に回復しているものの決して充分ではありません。少なくとも以前の水準である9.4%に戻すと仮定して、試算してみました。

本年度一般会計は、約1917億円なので、その0.1%は、1.9億円となります。

これを本年度の大分市重点事業で考えると・・・

大東中学校施設整備事業(新校舎建設の一部)が、約1.97億円 ほぼ同額

特別支援等教育活動サポート事業(補助教員配置) 126名分 約2.73億円 増員可能  
未来ある子どもたちの教育環境を整えることは、今後とも最重要な政策となります。必要としているところに必要な予算と人材の確保を提起し、その実現に向けて取り組みます。

☆坂ノ市小学校前バス停の上屋が完成☆ 右下画像

これは、大分市の地域ふれあい交通運行事業の一環として実現しました。本年度は市内3カ所に同様の工事が行われました(坂ノ市小学校前、判田中学校前、川久保バス停)。この屋根の設置で利便性が向上することを願っています。要望のあったベンチ設置などに向け、今後、調査研究を行っていきます。また、上屋の設置などがより多くのバス停で実現することを願うとともに公共交通の確保を訴えていきます。

